

拡張現実により安全性・生産性・収益性における 成果を引き出す

拡張現実を利用することにより、従業員をあらゆるキャリア段階において支援することにより従業員エクスペリエンスを豊かにするとともに従業員ライフサイクルを助長できます。製造や整備に携わる組織のうち、オンボーディング（導入支援）プログラムや安全プログラム並びに現場作業に拡張現実を導入して作業手順の指導や専門家とのコミュニケーションに役立てている組織では、従業員と組織全体の両方に成果が見られます。

拡張現実を使用している企業は、使用していない企業と比較して次のようなメリットを享受しています。

42%	前年比収益性の増加が 42% 高くなる
38%	従業員熟達度達成時間の削減を過去一年に実現した傾向が 38% 高くなる
32%	前年比での従業員生産性向上が 32% 高くなる
20%	前年比での決断時間削減が 20% 高くなる
17%	実整備作業時間 (HoTT) が 17% 高くなる
10%	記録されている総災害度数率 (TRIR) が 10% 低くなる



報告書全文はこちらから
ご一読頂けます。